

第4回 学校運営協議会 書面開催において提出頂いた意見・質問

1 議事について

・コロナ禍でしたが、学校行事・総合的な探究の活動の時間、共に計画的に実施されている点、たいへんすばらしいと感じます。各方面において、綿密に計画・対策がなされていたことが伺えます。

・各種表彰及び検定試験合格状況から、日頃の教育活動の成果が感じられます。

・新型コロナウイルス感染症が拡大する中、学校行事もおおむね実施できており、生徒たちの様々な体験活動ができていると感じました。

・コロナ禍で多くの制限がある中で、関係各所との連携・協力を絶やさず、多くの行事や交流がなされています。相当な準備や配慮が必要であったことと思います。それが学校評価生徒アンケートのQ15、17、18の結果とつながっているのではないかと思います。

・学校評価Q8の職員の回答からもうかがえますが、部活動の活性化を図ってほしいと思います。核となる部を2～3部設け、放課後も意欲をもって自分を高めるために活動できる生徒を育成してほしいと思います。

・学校評価アンケートのQ1で保護者に於ける否定的な意見が2割を占めているとあるが、学校の取組が理解できていないのか、生徒からの話でそう思っているのかが気になります。Q5で保護者のきまりを守るしつけが低下しているのが気になります。Q8で部活が活発に行われているかという点で、教職員がそう思うが0でだいたいそう思うも低いが生徒の思いと乖離があり、一考を要す。

・1, 2: コロナ禍の様々な困難の中で学校行事も工夫して実施され、3年生の進路が例年と同様に決定したことはよかったと思います。3: 那須という地域を学び舎とした総探の時間をさらに充実させて魅力化につなげられるとよいと思います。4: 生徒・保護者・教職員の意識に差がみられる項目もありましたが、おおむね高い評価が多く、充実した学校生活を送れている様子がうかがえました。5: 検定や表彰の状況では、生徒たちの頑張り、チャレンジ精神を感じました。

2 その他

・総合的な探究の時間を活用した魅力向上に関する事業につきましては、年度内において軌道修正しつつ生徒たちもかけがえのない体験が出来たと思います。令和4年度も内容を更に高めた事業が展開されるよう町もバックアップしたいと思います。

・リゾート観光科で、那須のパフレットや観光案内のチラシなど那須の自然や楽しさ、良さを日本中の人に知ってもらえるようなチラシ、生徒たちが撮る那須のポスターなどを作成し、那須高校も一緒にPRできればよいと思いました。

・学校評価アンケートでは、生徒からの肯定的な評価が増加し、生徒たちの自己肯定感が向上していると感じます。特に「学校生活に積極的に取り組んでいる」、「学習に意欲的に取り組んでいる」の項目について、令和元年度と比較しても大きく向上しており、学校教職員の

皆様の努力が実りつつあるのではと感じています。また、「地域に貢献している」の項目においても肯定的な評価が高く、目指す学校像を生徒がきちんと理解しており、同じ方向に学びが進んでいると感じました。

・総合的な探究の時間は、R4は「那須を拓くIⅡ」となっていますが、R3の地元友だちプロジェクトのような大々的な地域の機関や人々との交流を実施する予定はないのですか。かなりの労力を要する事業ですが、高校生にとって貴重な体験で、地域人材を育てるという意味においては、生徒本人にとっても社会にとっても意義のある機会だと思います。

・Q13で生徒・保護者とも那須高校が地域に貢献していると受けとめていて素晴らしい。今後とも充実した地域貢献に期待しています。Q16の施設設備について教職員の評価は充実した状況にないと思っている人が50%以上いる。今後の課題として取組の必要性を感じます。アンケートの回収率で保護者が低く、もう少し関心を持ってもらいたいが、もう少し回収率が高かった場合、良い結果に向いていればと思います。

・那須高校の印象が数年前からよい方向に変わってきているにもかかわらず、ネットの口コミで悪印象（公共マナーを学べない学校2016など）がヒットしてしまうのはとても残念に思います。

・那須町の生徒が少ないことを嘆くよりも、他域から入学してくれた生徒を大切にして、学校のよさ地域のよさに気づいてもらうことが大切だと思います。地域の人々との関わりを増やしたいですね。

・先生たちがとてもよく努力していました。

3 学校評価について

(1) 努力点I 評価A 33% B 67% C 0%

- ・どの項目も概ね達成できているようです。商業部の検定で好結果が残った点、次年度も継続を期待します。
- ・概ね出来ていると思います。
- ・コロナ禍ではあったが、総探の時間を活用し、公民館事業への参加、人物インタビュー等、特に地域交流活動は活発に行えた。
- ・学び直しはとても重要だと感じています。町内小学校においても、特に中・高学年時の算数における四則計算など、今後教科を超えて必要な知識を理解しないまま上位の学年に進級しないよう、その学年中での学び直しを各学校にお願いしています。
- ・引き続き、生徒たちの自己肯定感を高める取り組みとともに、生徒たちの自立・自律を促す教育をお願いいたします。
- ・学校評価のQ6の教職員評価において肯定的評価の割合が100%、1の回答だけでも61%というのは、教員の皆さんが、生徒の実態に応じて工夫をしているという自信の表れだと思います。それが、Q3やQ6の生徒による評価の結果の向上につながっていると思います。

- ・各種検定に於いて、各学年とも多くの合格者を出すことができたと感じています。後に続く生徒が是非倣って欲しいものです。
- ・丁寧な学び直し、授業改善や工夫によって基礎学力が定着し、生徒たちの自信につながっていると感じています。大きな時代の変化に伴った新しい学力観に向けて、さらに改善への努力を続けてほしいです。

(2) 努力点Ⅱ 評価A 33% B 67% C 0%

- ・どの項目においてもB以上の評価となっていて、成果を感じます。オオハンゴンソウ駆除活動については、中学校としても今後も協力させていただきたいと感じています。
- ・学校のホームページ、ニュースレターを通しある程度情報発信が出来たと思われる。
- ・地域との連携により、町民の那須高等学校の生徒のイメージが良い方向に変わりつつあると感じています。引き続き連携を深め、いずれは地域の担い手となるようご指導をお願いいたします。
- ・オオハンゴンソウの駆除活動は、町を挙げての取組となり、これまでの那須高校の事業の継続及び下地づくりに敬意を表します。那須中央中学校では、総合文化部を中心に活動に参加し、理科展や文化祭での発表を行い、当活動の意義について内外に発信しています。黒田原小の小学生に九九を教える活動は、双方にとってプラスになる活動だと思います。
- ・校外活動はコロナ禍の多くの制限の中でも様々な工夫によって可能な限りの活動が展開されたと感じています。外部との交流はまずは信頼関係を構築していくことが本当に大切ですね。様々な活動によって、生徒たちはそれぞれに価値ある学びをしてくれたのではないかと思います。さらに開かれた学校作りを期待します。

(3) 努力点Ⅲ 評価A 22% B 78% C 0%

- ・学校評価アンケートの保護者回答は、概ね肯定的な評価が多いのではないかと受け止めています。
- ・学校や生徒に関心を持ってもらうために外部にもアンケートをとった試みは良かった。
- ・学校評価アンケートの結果から、学校の努力が保護者に伝わりきれていないように感じました。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあるかと思いますが、更なる信頼関係の構築に期待しています。
- ・学校評価のQ10の教職員の回答から、いじめ防止に関して、意識が高い職員集団ということを表しているものと思います。同じ質問の生徒の1の回答が2年前に比べると約2倍の40%に上昇していることは、注目に値します。
- ・何度も話題になっていたことですが過去の負のイメージが未だに払拭されていないことを感じます。HPの更新は大変でしょうが項目を丁寧に洗い出して更新していくことも信頼を得ることにつながると思います。(特に地域活動は早めの更新を希望します。)